

インターバンクの声（2017 年 7 月 11 日）

週明けの東京市場のドル円は、先週末の米雇用統計を受けた円売り・ドル買いの地合いを保ったが、大幅に円安が進むには大きな壁になりそうな 115 円に迫る動きとはならなかった。

朝方、黒田日銀総裁が改めて長期金利をゼロパーセント付近に抑え込む考えを示したものの市場の反応は弱く、日中のドル円の取引レンジは 40 銭ほどに留まった。ロンドン、ニューヨーク市場での取引レンジは更に縮小したが、米国の主要経済指標の発表もなく、イエレン米 FRB 議長の上下両院での議会証言やインフレ指標の発表といったビッグイベントが水曜日以降に集中しているとあっては、こう着相場も仕方なしといったところだ。米 FRB の年内追加利上げの可能性は雇用統計の結果から高まっているが、イエレン議長が早期のバランスシート正常化に向けた発言をすれば、115 円突破を目指すような動きがあるかも知れない。今日の日中も大きな変化は期待出来ないが、夜にはブレイナード FRB 理事などの講演も予定されており、多少の調整はあるかもしれない。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。